

パブリックコメント手続の実施結果について

下記の案件について、町民の意見を募集するパブリックコメントの手続を行い次のとおりご意見をいただきましたので、結果をまとめてお知らせします。

●パブリックコメント手続の実施

対象案件	浦臼町非核平和の町宣言（素案）について
意見募集期間	令和3年2月17日 ～ 令和3年3月12日
担当部署（問合せ先）	総務課庶務係（電話 0125-68-2111）
意見提出件数	意見提出者数 17人（個人 17人・法人 0人）
	意見提出件数 17件
	賛同意見 14件(1～14) 反対意見 3件(15～17)

●パブリックコメント手続の結果（町民意見提出手続の結果）

番号	提出のあった意見の概要	町の考え方 (原案を修正したときは修正内容)
1	恒久平和は個人・法人を問わず他社の権利を認め、対等公平な立場を尊重し合う社会を目指さなければならないと思います。生存権の問題はありますが、最低限誰もがエゴイズムを脱して公共のルールを守ること、端的に言えば「嘘をつかない、盗まない、騙さない、相手を傷つけない」事を、各個人・法人が守ることに集約されると思います。目の前の「核」だけでなく、人類の平和共存という点で感じました。 (60歳代 男性)	浦臼町非核平和の町宣言（素案）にご賛同いただいたご意見として参考にさせていただきます。
2	宣言の趣旨及び宣言の素案とも賛同します。樺戸の山々に囲まれて緑豊かで土壌や水にも恵まれ、自然災害も少なく風光明媚な浦臼町がいつまでも安心して暮らせる町であるように、是非この「非核平和の町」宣言を堅持して行って欲しいと思います。 (80歳代 男性)	浦臼町非核平和の町宣言（素案）にご賛同いただいたご意見として参考にさせていただきます。

3	<p>浦臼町で「非核平和の町」宣言をすることはとても良いことと思います。そういう町が増えていくことを望みます。基本的には賛成ですが、泊原発を含め全国の原発が廃炉になること、世界中の原発も無くなってほしいと思います。また、トリチウムなどの汚染水を大気中や海に放出し、環境汚染されることがないように望みます。このような思いも宣言の中に含めていただくと嬉しいです。このような宣言をしようとしている浦臼町を、私は誇りに思います。追記この宣言とは関わりの無いことですが、私は宮城県の綾町のような有機の町になることを望みます。農家の中ではここに有機農法を取り入れているところもあるとは思いますが、町全体で取り組んでいただきたく思います。農地が農薬で汚染されるということは、川や海、空気など生命にとってかけがえのない水の資源や空気が汚染される事だと思えます。近い将来汚染されない土地や水資源が貴重なものとなることでしょう。また、都市からの移住を考える人にとって、きれいな川や空気は、価値のあるものととらえられる事と思えます。このようなことから浦臼町が有機の町として発展していくことが大切と思えますので、取り組みを始めていただけますようお願いいたします。日々町民のために働いていただき、ありがとうございます。私も浦臼町民のひとりとして、これからも住みよい町作りのため努力していきたいと思えます。</p> <p>(60歳代 女性)</p>	<p>浦臼町非核平和の町宣言（素案）本文中の「環境の崩壊につながる可能性のある行為を決して認めず」に広い意味で含まれるため原案の修正は致しませんが、ご意見として参考にさせていただきます。</p>
4	<p>浦臼町非核平和の町宣言に賛成します。</p> <p>(80歳代 男性)</p>	<p>浦臼町非核平和の町宣言（素案）にご賛同いただいたご意見として参考にさせていただきます。</p>

5	<p>地震王国日本列島において、原子力発電という発想がいかにかに全ての生き物に対し驚異であり、間違いであったのかという現実を3.11以後10年を経た現在も福島とその周辺の人々、ひいては全国民の頭を悩ませ、苦しませ続けている現実を思うと、幌延及び現在取りざたされている寿都町における放射性廃棄物等の受け入れは断じて容認できません。お金で人の命は買えないのです。クリーンな北海道の未来を守るため、道民一丸となり声を上げるべきと思います。</p> <p>(80歳代 女性)</p>	<p>浦臼町非核平和の町宣言（素案）にご賛同いただいたご意見として参考にさせていただきます。</p>
6	<p>賛成します。コントロール不可である原発の存在そのものと、処理不能の使用済核燃料の持込は決して認める事は出来ません。</p> <p>(60歳代 女性)</p>	<p>浦臼町非核平和の町宣言（素案）にご賛同いただいたご意見として参考にさせていただきます。</p>
7	<p>浦臼町「非核平和の町宣言」の制定に賛成します。安心して安全に暮らすことのできる町としてのイメージアップにつながるものと思います。</p> <p>(70歳代 男性)</p>	<p>浦臼町非核平和の町宣言（素案）にご賛同いただいたご意見として参考にさせていただきます。</p>
8	<p>宣言の末尾に、日本国憲法の平和精神に基づき「非核平和の町」を宣言します。とあった方が不変の理念に基づく宣言であると考えます。</p> <p>趣旨にある「北海道における特定放射性廃棄物に関する条例」や他自治体の活動等、町民がまだ十分に知りえていないこともあるように思います。これから「非核」「放射性廃棄物」について学び、町民や自治体間のつながりを深めることでより安心、安全が深められるものと思います。</p> <p>(60歳代 男性)</p>	<p>浦臼町非核平和の町宣言（素案）本文中の「非核三原則の堅持を強く訴え、核兵器のない平和な社会」に広い意味で含まれるため原案の修正は致しませんが、ご意見として参考にさせていただきます。</p>

9	<p>(宣言文1行目)～願いであります。→～願いです。(全文の文末との整合性)、</p> <p>(宣言文2行目)～続けられ→～続き(後の文節との整合性)、世界の多くの人々が核兵器廃絶を望んでいます。核兵器の恐ろしさを知っているからです。けれど核保有国は核兵器の脅威によって外交を進めようとする傾向が強くなっているように見えます。だれかに任せるのではなく、身近な場所で平和を実現する一步を踏み出すこの宣言に賛成です。平和、環境は未来に残す貴重な財産です。</p> <p>(60歳代 女性)</p>	<p>いただいたご意見を参考に「願いであります。」を「願いです。」に、「続けられ」を「続き」に文章の見直しを行いました。</p>
10	<p>道内受け入れ反対。安全な物ならば東京の地下に捨てたら、危険な物なら立ち入り禁止にして地上に保管すべき。これ以上増やさない。</p> <p>誘致自治体への支援、廃炉の費用、ごみ引き受け自治体への支援、被災後の補償、近隣市町村の産業に対する風評被害などを原価に組み込むと決して安くはない。一部の既得権者に一時金が入るだけで、それ以外の多くの人、未来の子孫たちには負の遺産としかならない。再生可能エネルギーに切り替えるべきだ。</p> <p>世界中の核爆弾を廃棄すべきである。ただし中国のような世界制覇を企んでいる国や、テロリストのように自分の命さえおろそかにする人達に核を保有されるのであれば、一方的な核廃棄は危険であり、政治家の外交努力で全世界の核を廃絶し、監視体制を構築して平和を守る。</p> <p>(60歳代 男性)</p>	<p>浦臼町非核平和の町宣言(素案)にご賛同いただいたご意見として参考にさせていただきます。</p>
11	<p>難しいことはわかりませんが、私たちの子供達のために非核は大切だと思います。</p> <p>(70歳代 女性)</p>	<p>浦臼町非核平和の町宣言(素案)にご賛同いただいたご意見として参考にさせていただきます。</p>

12	<p>北海道における特定放射性廃棄物に関する条例に受け入れ難いと宣言すると規定されている、内陸部に位置する地理的な条件、更に断層帯の存在が明らかであり、受け入れ拒否を宣言して当然と考えます。非核三原則の堅持を強く訴え、核兵器の廃絶と戦争のない平和な社会の実現を目指してほしい。高レベル放射性廃棄物の持込みなど、町民が安心して暮らせる環境の崩壊につながる可能性のある行為を決して認めず、緑豊かな樺戸連峰と生命、郷土の大地と町民の生活を守り、未来を担う子供達に自信を持って引き継ぐため、ここに宣言をします。</p> <p>(70歳代 男性)</p>	<p>浦臼町非核平和の町宣言（素案）にご賛同いただいたご意見として参考にさせていただきます。</p>
13	<p>「非核平和の町」宣言を町として出すことと、その趣旨に対して、個人として大いに賛同いたしております。</p> <p>(70歳代 男性)</p>	<p>浦臼町非核平和の町宣言（素案）にご賛同いただいたご意見として参考にさせていただきます。</p>
14	<p>「非核平和の町宣言」に賛同いたします。人類と核は共存出来ません。全ての人間が恐怖に脅かされず平和に暮らせる世界の実現のために国には原子力政策の再考を求めます。</p> <p>(60歳代 女性)</p>	<p>浦臼町非核平和の町宣言（素案）にご賛同いただいたご意見として参考にさせていただきます。</p>

この宣言文は非常に政治的なにおいを感じ、偏った印象を受けます。浦臼町は特定の政党に肩入れしているのでしょうか。そもそも日本は核を持っていません。むしろ核を保持し、他国を威嚇している卑劣な中国・北朝鮮に向けて、非核化要求の宣言を発するべきではないでしょうか。中国・北朝鮮の核を非難せず国内は非核平和を守れと言うのは、誠に納得のいかない矛盾した偽善なる宣言です。世界各地の紛争は軍事バランスが崩れたところで起きています。米軍がフィリピンから去った後、珊瑚礁が中国によって占領され軍事基地化した南シナ海などはそのいい例です。また、中国による尖閣諸島における連日の領海侵犯の常態化は、核を持たず武力も行使できない日本の足下を見た非常に卑劣な重大な侵略行為です。このように近年の中国の軍備増強に周辺国が追いついていない事が中国の脅威を更に助長しています。むしろ国内の防衛予算の貧弱さと法整備を嘆かなければいけない時に何故このような宣言が必要なのか、理解に苦しみます。この宣言は国内世論を、日本の防衛力の貧弱さに拍車をかける方向へ誤導します。そればかりではなく中国・北朝鮮の軍備増強を助ける、非常に危険な宣言だと危惧します。この宣言はいずれ日本の「防衛力の放棄」の思想へと変質していきます。「自衛隊不要論」「自衛隊違憲論」がその代表的なもので、安全保障の基本を全く考えない特定の政党が主張する、極めて政治的な偏った考え方です。先祖が命を賭して守った日本をこれから私たち自身の手でその遺志を引き継ぎ、守っていかねばなりません。憲法改正をして自衛隊を合憲化し、「自分の国は自分で守る原則」を我々自身の手で実現していかなければいけないこれからという時に、今なぜ浦臼町がこんな宣言をする必要があるのか。安全保障の原則を無視し、防衛力放棄の考え方につながり、中国・北朝鮮の軍備増強を助け、特定の政党に肩入れする危険性のあるこの宣言に強く反対します。また放射性廃棄物の問題と同じにすることにも反対します。私は核のゴミの問題が解決できないままの原子力発電には反対です。しかし、この非核平和の宣言とは全くの別問題で無関係です。この非核化宣言を通しやすくするための意義付けに利用しているとしか思えません。誰もがこの問題には反対だからです。町民の反対感情を利用しています。

(50歳代 男性)

貴重なご意見をいただきましたが、争いのない社会、平和な世界の実現は全ての人にとって変わらぬ願いであり、希望であると思います。その普遍的な意思を町内外に示すため本宣言を実施するものです。ご理解をお願いいたします。

<p>16</p>	<p>核兵器について保有を認められている国5カ国、保有を宣言してる国2カ国、共有を宣言している国4カ国、疑惑のある国3カ国、以上が今の現実である。日本の近隣国では核軍拡に歯止めが無く、特定の国では軍拡を推進する危険性の国が実現している。我が国は「核を持たず、造らず、持ち込まず」を宣言する中で、日米安全保障条約によりアメリカの核の傘の中にある事が唯一の道が我が国の方針であります。一自治体が「非核平和の町宣言」はナンセンスである。将来に禍根を残す事に成らぬ様町の宣言に反対するものであります。 (80歳代 男性)</p>	<p>貴重なご意見をいただきましたが、争いのない社会、平和な世界の実現は全ての人にとって変わらぬ願いであり、希望であると思います。その普遍的な意思を町内外に示すため本宣言を実施するものです。ご理解をお願いいたします。</p>
<p>17</p>	<p>「非核化」が平和に繋がると思われているようですが、核を持たない日本が言ったところで「侵略して下さい。」と言っているようなものです。侵略しようとする国に対して何の効果もありません。ある意味非核平和宣言は、左翼の工作ではないかと疑います。非核平和の町宣言の問題点として軍備拡張を悪とする、まるで日本に抑止力を持たせない意思が感じられる点が気持ち悪いですし、エネルギーとしての核の問題と切り離して考えるべきです。核を持たない日本が非核平和の町宣言をしても、侵略したい国がある以上偽善に終わる事は目に見えているのではないのでしょうか。非核宣言で日本を守ることは出来ません。守るどころか侵略されるでしょう。 (50歳代 女性)</p>	<p>貴重なご意見をいただきましたが、争いのない社会、平和な世界の実現は全ての人にとって変わらぬ願いであり、希望であると思います。その普遍的な意思を町内外に示すため本宣言を実施するものです。ご理解をお願いいたします。</p>